



※「ガッチャンコ」とは…

「くっつける」「ひとつになる」という意味で使われる言葉。HBCが人と人、地域と地域を「つなぐ」存在でありたいという願いがこめられています。

2018年9月20日

## HBC制作のラジオドキュメンタリーが 日本民間放送連盟賞で優秀賞に！

HBC北海道放送が制作、放送したラジオドキュメンタリーが、2018年日本民間放送連盟賞の番組部門ラジオ報道番組で優秀賞を受賞しました。

### 番組部門 ラジオ報道番組 優秀賞

番組名「拝啓・大隊長様～大学生が届ける沖縄戦の手紙」

スタッフ 取材・構成：竹村研人、企画・制作：眞鍋康志、ナレーション：村井裕子、音効：西岡俊明

放送日時 2018年5月28日(月)午前2:30～3:00

〈概要〉 日米両軍や地元住民ら計20万人以上が死亡した沖縄戦。799人の部下のうち、700人を失った元陸軍大尉・伊東孝一大隊長は、戦後間もない混乱期、部下の遺族に戦死を知らせる手紙を書いた。

戻ってきたのは356通もの返信。「息子は名誉の戦死だった」「恩典はおろか葬儀料すら出ない。犬猫より劣る有り様」「夫のあとを追いたい、3人の幼子を思うと許されない」。記された356通りの喪失を、大隊長は戦後ずっと「封印」し生きてきた。

72年後。戦地だった沖縄で遺骨収集を続けている女子大学生たちが、大隊長から手紙を託された。遺族が望むならば、手紙を返してあげてほしい―。首都圏に住む大学生たちは、兵士たちが生まれ育った北海道を訪ねる。手紙を読み込み、遺族たちと触れ合う中で、彼女たちの胸に、戦争の記憶が刻み込まれていく。

「戦争の『体験者』にはなれずとも『証言者』にはなれる」（沖縄国際大学元教授・吉浜忍さん）。戦争体験者が間もなくゼロになる中、記憶を次の世代につなぐ大学生の旅は続く。

【お問い合わせ】〒060-8501 札幌市中央区北1条西5丁目 HBC 北海道放送株式会社  
社長室 広報部 TEL:011-232-5821